

ひょうごらくのうメモ

2

2020 FEB



らくのうひょうごフェスティバル絵画コンクール入賞作品
(洲本市 濱口昂大さん 1年生)



WEB



発行：兵庫県酪農農業協同組合

神戸市西区伊川谷町潤和1058
西神文化センター3階

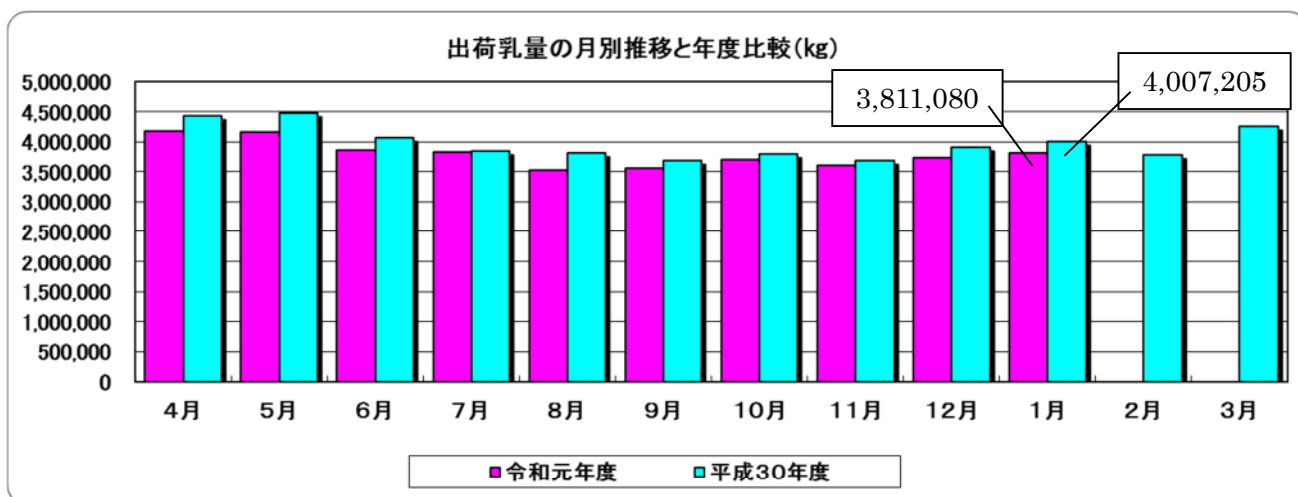
生乳生産量統計

1. 全国（令和元年12月・農林水産省牛乳乳製品の生産動向より）

	生乳生産量（千トン）	対前年比（%）
平成31年 4月	622.8	99.9
令和 元年 5月	644.2	99.5
令和 元年 6月	618.9	99.7
令和 元年 7月	623.3	101.1
令和 元年 8月	595.6	98.2
令和 元年 9月	583.5	104.1
令和 元年10月	601.9	101.0
令和 元年11月	585.4	101.0
令和 元年12月	616.0	101.0
令和 2年 1月		
令和 2年 2月		
令和 2年 3月		
令和 元年度累計	5491.6	100.6

2. 兵庫県酪農協取扱い分（公共施設を除く）

地 区	令和 2年1月		年度累計		出荷農家 戸 数
	生乳生産量 (kg)	対前年比 (%)	生乳生産量 (kg)	対前年比 (%)	
阪神地区	624,961	98.1	6,182,167	95.6	24
播州地区	1,079,081	96.8	10,916,049	98.7	36
丹但地区	341,870	84.7	3,353,473	86.5	18
淡路地区	1,765,168	89.0	17,507,864	95.6	111
合 計	3,811,080	95.1	37,959,553	95.6	189



理事会報告

令和2年1月31日（金）、西神文化センター202号室において、令和元年度第7回理事会を理事5名出席、監事同席の下開催した。組合長挨拶の後、令和元年度生乳計画生産進捗状況、10月・11月次決算状況、「らく婚」開催報告、地区別懇談会意見・要望、それぞれについて報告の後、次の事項について協議を行った。

①酪農業賠償責任保険自主規制の課金について（部分再考）

前回、前々回に続き事例発生毎の対応について協議を行った。今回については、ヘルパー依頼日において事故が発生した場合、原因を特定した上で賦課について協議する事と決定した。

②持分譲渡に伴う組合員加入申込の承認について

経営の継承による組合出資持分の譲渡に併せ、後継者の組合員加入の承認を行った。

③組合員脱退届（任意脱退）について

大規模な組合員より脱退届の提出があった為、報告を行った。

④地区別懇談会等の回答について

⑤次年度収支予算の組立てについて

上記2項目については、第4回通常総会での指摘事項である今後の組織運営のシミュレーション作成を中心に、第2次中期事業計画（案）として今後5ヶ年の予測等の内容について組合運営の基本方針など、検討・協議を行ったが、検討課題も多く最終決定に至らず継続協議とした。

その他として、集送乳合理化の推進については、それぞれ引き続き進めて行く事を確認した。

追記

2月6日（木）同センター301号室において、第7回理事会において継続協議となった事項について再度協議を行った。シミュレーション中期計画（案）を基に修正を加え2月中旬には組合員に発送する事とした。

○主な行事予定

（2月）

- 17日 兵庫県認証食品審査有識者会議
- 18日 神戸市畜産クラスター協議会臨時総会
- 20日 淡路自衛防疫推進協議会幹事会
- 21日 全国ホルスタイン改良会議会通常総会
- 25日 内部管理職会議
- 26日 兵庫県畜産協会衛生指導業務運営委員会
- 27日 全酪連大阪支所管内酪生研冬期研修
野生動物被害防止対策研修会
- 28日 淡路地域畜産技術成果・事例発表会

（3月）

- 2日 役員研修会
- 3日 兵庫県有和牛精液利用検討委員会
- 4日 近畿生乳販連理事会
日本酪農政治連盟中央委員会・通常総会
- 5日 JA総務担当部課長会議
- 7日 第38回兵庫県ブラック&ホワイトシヨウ
- 11日 兵庫県学校給食用牛乳供給事業協議会
- 13日 兵庫県畜産協会理事会
兵庫県農業共済連損害評価全体会議

バケツ3点セット 特価のご案内

※数量限定のため、
先着順になります！
お早めにご注文をお願いします。



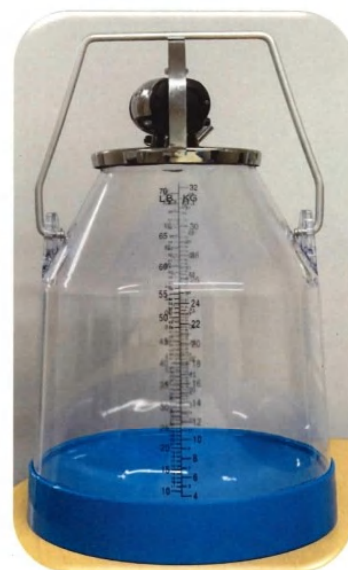
①プラスチックバケツ 32L

②エアパル02(60:40)

③バケツ蓋 [エアパル用]ニッフル外径φ18

★軽量

★透明のため中身が見える



¥35,000- (税別)

無くなり次第終了です。

SCCコントロールの活用で高品質な牛乳を！

全国酪農業協同組合連合会 漆澤 桃香

1. SCCコントロールの重要性

体細胞とは、乳汁中に出現する細胞のことで、外部から侵入した異物（細菌、カビ、ウイルスなど）の排除を行う“白血球”や、乳頭口・乳腺細胞などから脱落した“上皮細胞”などから構成されています。細菌やカビなどの病原体が乳頭口から侵入すると、増殖し、毒素や刺激物質を生成します。これらを排出するために戦った細胞が、破壊されて死滅し、乳房内へ大量に放出されることで、乳中の体細胞数は高くなるのです。そして、こうした病原体によって乳房内の細胞が傷つけられ炎症が引き起こされた結果、発生する疾病が乳房炎です。

乳房炎が発生すると、乳量や乳成分などが落ち込み、生産性の低下を招きます。また、抗生物質などを用いた場合には、出荷停止に加え治療代もかかるため、その経済損失は甚大です。さらに、近年では食に対する安心・安全への関心がさらに高まっており、より高水準な乳質の確保が求められています。

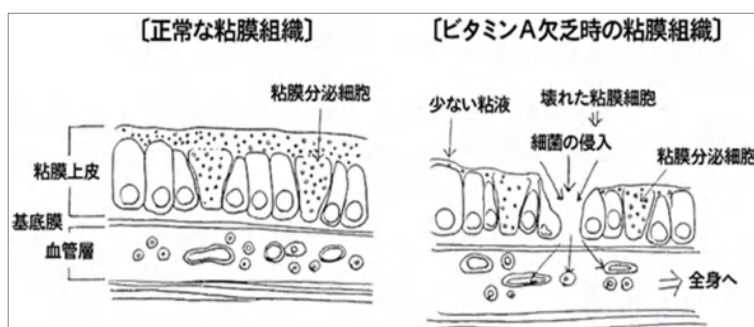
2. 栄養成分の活用

体細胞数が増え始める時、軽度な乳房炎の兆候が見られる時、また夏場などストレスで乳質が不安定になりやすい時期には、ビタミンの充足が1つの重要なポイントです。今回は、乳質改善に有効なビタミンとその効能についておさらいしたいと思います。

① ビタミンA

正常な成長・発育、視覚・聴覚の健康や、細胞分化や骨の構造への関与、繁殖機能・免疫機能の維持、粘膜・皮膚の正常保持など、生体の健全を維持する上で重要な物質です。

粘膜上皮を保護する粘膜の生成に必須の成分であり、不足すると粘膜細胞が壊れやすくなり、病原体が侵入しやすい状態となってしまいます（下記図参照）。また、免疫細胞の働きをサポートする機能もあることから、病原体が侵入してしまった際にも、免疫細胞がしっかりと働くことができ、病原体の増殖や攻撃を抑えることができます。




② ビタミンE

活性酸素の働きを抑える抗酸化作用があり、細胞の健康維持や免疫、繁殖機能の正常を保つうえで重要な物質です。活性酸素は、感染などの際には、侵入した病原性微生物を酸化し除去する働きをしますが、溜まっていくと健康な細胞やDNAまでも傷つけ、その機能を阻害してしまいます。ビタミンEの充足は、乳腺組織において細胞膜の正常を維持させたり、その抗酸化作用により、白血球が病原体を攻撃した際に放出する活性酸素から、乳腺細胞の破壊を防いだりする働きを支えます。

3. おいしい牛乳の生産に！

「ソマテックAE1000」はビタミンA・Eを高単位に含む微粒カプセル状の製品で、安定性に優れます。また、特殊な乳化処理加工が施されており、体内で容易に乳化するため、腸管からの吸収および肝臓への蓄積も良好で、乳質が気になる時の迅速なビタミンA・E補給に最適です。使い方は下記の通り、体細胞数の度合いによって給与量を調整するだけで、とても簡単です。

〈衛生的乳質〉	〈ソマテックAE1000〉
軽度に低下したとき	1袋／日×1日
大きく低下したとき	1袋／日×2日連続
甚だしく低下したとき	1袋／日×3日連続



著しく乳質が悪化した場合や重度の乳房炎を発症した場合には、担当獣医や組合職員に相談し、適切な処置をとることが大切です。しかし、日々のちょっとした乳質の変化に備え、ソマテックAE1000を常備してみてもいいかもしれません。

また、根本的な環境改善も非常に重要です。きれいで新鮮な水や空気の確保、栄養バランスの整った飼料給与、そして清潔で乾いた牛床など、今一度カウコンフォートについても見直してみましよう。牛床の衛生対策の一つとしては、弊会の環境衛生資材「TOKOマイト」もおすすです。ドロマイト石灰の優れた効果（菌数抑制・乳頭皮膚へのやさしさ・蹄の健康維持）と、多孔質のケイ酸成分による天然由来のすべり止め機能を併せ持ち、牛床や通路の快適を保ちます。また、ホコリが立ちにくいので、作業も阻害しません。

牛舎環境の改善でお悩みの際には、ぜひこちらも取り入れてみてください。



きれいな おいしい牛乳の生産に!

牛用混合飼料

ピポ ソマテックAE 1000

ビタミンA、Eなどの栄養素が不足すると、衛生的乳質が低下することがあります。ソマテックAEは効率よく一時に大量のビタミンA、Eを補給することができます。



50g×5袋

高単位ビタミンAE

ピポ ソマテックAE 1000

ソマテックAE1000の特長

- ビタミンAを高単位(1,000万IU/1袋)含有しているので、使用目的に応じ補給することができます。
- ビタミンAとEは、超微粒カプセル状にコーティングされているので、安定性と保存性にすぐれています。
- ビタミンAとEは、特殊乳化処理により、体内で容易に乳化し、腸管からの吸収と肝臓への蓄積がすぐれています。
- ビタミンAとEは、安定性と吸収性が強化されています。
- 嗜好性のよい粉末で、飼料に混ぜて簡単に給与できます。

ソマテックAE1000の給与方法

- 乳牛用飼料乾物量に対し0.01~1%をめやすに混合して与えてください。
- 乳質が低下したときには、個体ごとにその程度に応じて1日1袋(50g)のソマテックAEを飼料に混合して1~3日間給与してください。
衛生的乳質が低下したとき……………1袋(50g)・1日
衛生的乳質がかなり低下したとき……1袋(50g)・2日連続
衛生的乳質が甚だしく低下したとき……1袋(50g)・3日連続
- 牛群として管理する場合は、全頭に対して毎月2回1頭あたり50gずつのソマテックAEを定期的に給与してください

ソマテックAE1000の成分

- 含有する飼料添加物の名称及び量(50g中)
ビタミンA……………10,000,000国際単位
ビタミンE……………1,000mg
着香料
- 原材料名
ブドウ糖
乳糖
ステビア

■ 保存方法

- 高温多湿の場所は避けて保存してください。 ● 開封後はお早めにご使用ください。

製造発売元 日産合成工業株式会社

淡路家畜市場情報

令和2年1月9日

F1 スモール	メス	今回	頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			21	206,067	262,900	146,300			54		
		前回	14	185,507	286,000	1,100			53	20,560	11.1%
		前年	16	261,225	308,880	151,200			54	-55,158	-21.1%
オス	今回	13	247,838	336,600	179,300			52			
	前回	16	181,225	352,000	15,400			54	66,613	36.8%	
	前年	19	338,211	401,760	104,760			52	-90,373	-26.7%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

ホルス スモール	メス	今回	頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			1	7,700	7,700	7,700			57		
		前回	1	1,100	1,100	1,100			54	6,600	600.0%
		前年									
オス	今回	12	54,450	77,000	3,300			53			
	前回	11	41,800	79,200	6,600			50	12,650	30.3%	
	前年	18	65,220	108,000	7,560			50	-10,770	-16.5%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

* 前は令和1年12月25日・前年は平成31年1月9日

令和2年1月25日

F1 スモール	メス	今回	頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			17	208,094	261,800	139,700			58		
		前回	21	206,067	262,900	146,300			54	2,027	1.0%
		前年	14	212,529	279,720	1,080			56	-4,435	-2.1%
オス	今回	13	229,054	317,900	124,300			56			
	前回	13	247,838	336,600	179,300			52	-18,784	-7.6%	
	前年	16	307,395	369,360	246,240			55	-78,341	-25.5%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

ホルス スモール	メス	今回	頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
		前回	1	7,700	7,700	7,700			57	-7,700	-100.0%
		前年	1	29,160	29,160	29,160			52	-29,160	-100.0%
オス	今回	8	70,950	85,800	47,300			53			
	前回	12	54,450	77,000	3,300			53	16,500	30.3%	
	前年	23	59,024	101,520	1,080			50	11,926	20.2%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

* 前は令和2年1月9日・前年は平成31年1月25日

隣県家畜市場情報

乳用種(雄のみ)

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
29年次	92,552	987	102,384	1,786	83,819	313	109,647	110,536	
30年次	114,925	931	128,634	1,548	104,980	265	135,573	106,027	
元年次	70,885	965	98,240	1,509	259,810	324	74,068	101,375	
元	1	96,634	84	91,423	129	82,370	41	103,499	7,937
	2	83,372	97	107,560	108	63,720	34	117,485	7,562
	3	115,483	56	132,371	145	102,376	29	138,663	8,229
	4	143,383	84	146,149	124	150,048	15	145,203	8,497
	5	151,684	58	164,849	91	141,210	16	141,762	7,937
	6	150,840	45	170,586	80	140,498	11	141,101	7,293
	7	141,452	76	151,626	114	148,163	16	134,807	9,403
	8	104,232	88	122,523	172	87,246	37	109,114	9,293
	9	91,330	85	95,559	127	67,068	20	103,513	8,950
	10	82,040	122	75,136	167	65,511	36	94,142	9,866
	11	84,258	87	85,333	132	82,847	38	104,394	8,138
	12	88,066	83	85,149	120	67,384	31	104,367	8,270
2	1	72,711	79	88,802	107	78,414	35	99,312	8,429
	2								
	3								
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								

交雑種・乳

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
29年次	266,574	3,424	261,231	5,066	310,015	2,848	260,017	156,761	
30年次	265,098	3,642	265,355	4,560	306,156	2,420	257,799	150,900	
元年次	231,312	4,603	315,474	4,355	417,230	1,764	212,359	150,447	
元	1	271,973	278	281,940	378	331,981	113	260,053	12,131
	2	273,423	374	289,143	353	331,340	157	270,756	11,986
	3	296,616	357	314,143	348	356,184	160	294,041	11,958
	4	335,816	322	351,428	314	370,145	161	319,085	12,054
	5	361,670	315	368,655	349	393,614	153	325,752	11,875
	6	380,866	248	373,227	298	409,417	111	321,745	10,430
	7	367,992	409	373,248	280	419,466	109	322,123	12,229
	8	325,819	408	311,976	451	377,289	129	281,821	12,799
	9	273,749	488	247,863	400	305,611	147	257,885	13,184
	10	252,165	457	242,155	425	294,762	147	240,944	14,517
	11	258,193	444	236,865	371	283,248	211	233,550	13,315
	12	261,363	503	242,522	388	292,567	166	232,958	13,969
2	1	255,373	517	251,538	374	288,876	218	220,601	14,628
	2								
	3								
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								

※ 生後60日齢までの情報になっておりますので、ご注意ください。

北海道産牛価格情勢

(令和2年2月版)

ホクレン家畜市場情報

(初妊牛ホル)

令和2年1月市場開催結果

家畜市場名	開催日	平均金額	前年同月比(参考)		
ホクレン南北海道市場	10日	803,000円	832,000円	-29,000	96.5%
ホクレン豊富市場	16日	828,000円	912,000円	-84,000	90.8%
ホクレン根室市場	20日	835,000円	938,000円	-103,000	89.0%
ホクレン釧路市場	21日	798,000円	909,000円	-111,000	87.8%
ホクレン十勝市場	22日	855,000円	997,000円	-142,000	85.8%
ホクレン北見市場	23日	846,000円	928,000円	-82,000	91.2%
平均		837,000円	945,000円	-108,000	88.6%

2月ホクレン市場日程と参考情報

開催家畜市場名	開催日	前月	昨年
ホクレン十勝市場	5日	855,000円	968,000円
ホクレン根室市場	6日	835,000円	938,000円
ホクレン南北海道市場	7日	803,000円	853,000円
ホクレン豊富市場	13日	828,000円	968,000円
ホクレン釧路市場	18日	798,000円	904,000円
ホクレン十勝市場	19日	855,000円	963,000円
ホクレン北見市場	20日	846,000円	958,000円
ホクレン根室市場	27日	835,000円	966,000円
平均		837,000円	951,000円

3月ホクレン市場日程と参考情報

開催家畜市場名	開催日	昨年
ホクレン十勝市場	4日	976,000円
ホクレン南北海道市場	6日	805,000円
ホクレン豊富市場	13日	926,000円
ホクレン根室市場	16日	903,000円
ホクレン釧路市場	17日	890,000円
ホクレン北見市場	18日	940,000円
ホクレン十勝市場	19日	913,000円
平均		923,000円

兵庫県酪農協 指導購買課

北海道乳牛産地情報

(令和2年2月1日現在)

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	40~47	やや強含み	札幌管内の1月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計で104.6%、累計で99.4%、苫小牧管内月計で101.3%、累計で98.9%の実績となっております。 2月の初妊牛動向といたしまして、4月~5月分娩予定中心で動くものと思われま。1月の同地域の乳牛市場はやや強含みの相場展開となりました。今後春産みを求める動きが、さらに活発化する事が予想され、庭先購買で選ぶ中クラス以上の初妊牛もやや強含みの動きとなると予想されます。初妊牛資源としての出回り頭数は他の地域と比べますが少ないですが、優良な成績付きのものも出てくる地域ですので、ご希望がございましたらお問い合わせをお願いします。
	初妊牛	77~87	やや強含み	
	経産牛	50~60	横這い	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	40~50	横這い	根釧管内の1月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で101.4%、累計で100.5%、中標津管内月計で103.8%、累計で102.9%の実績となっております。 2月の初妊牛動向といたしまして、4月~5月上旬分娩が中心で動くものと思われま。人気の春産みを求め、1月の乳牛市場が強含みで動いたため、2月の庭先購買価格も同様のものとなると考えられます。F1腹、雌雄選別腹での価格差はなくなってきており、和牛受精卵移植腹は堅調な動きとなってきています。初妊牛相場に連動し経産牛も堅調に推移すると思われま。都府県からのお問い合わせやご注文が増えてきております。ご希望の際はお早目のご相談・ご注文をお願いします。
	初妊牛	75~85	強含み	
	経産牛	50~60	やや強含み	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	43~50	やや強含み	帯広管内の1月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で103.1%、累計で103.5%の実績となっております。 2月の初妊牛動向といたしまして、4月~5月分娩予定中心で動くものと思われま。1月の道内各地域の乳牛市場での初妊牛価格が上がり、育成牛も高騰したため、2月の帯広管内の庭先購買もやや強含みで動くものと思われま。初妊牛資源としては、F1腹・雌雄選別腹の出回り頭数は多く、十分に確保できるものと思われま。価格につきましては、雌雄選別腹と比較するとF1腹の方が高い傾向にありますが、雌雄選別腹の価格が上がってきており、その価格差は無くなってきている状況です。また、初妊牛価格が上がると、連動して経産牛の需要も高くなることから、経産牛価格もやや強含みの相場展開になるものと思われま。
	初妊牛	77~87	やや強含み	
	経産牛	52~62	やや強含み	
道北管内	育成牛(10-12月令)	40~50	やや強含み	道北管内の1月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で103.2%、累計で100.4%、北見管内では月計で101.0%、累計で101.2%の実績となっております。 2月の初妊牛動向といたしまして、4月中旬~5月分娩が中心で動くものと思われま。例年通りの春分娩需要と道内の新規就農・規模拡大による需要が依然として堅調な為、2月の庭先購買価格はやや強含みで動くものと思われま。初妊牛の資源頭数は昨年に比べて増えていますが、F1腹・雌雄選別腹ともに引き合いが強い状態が続いています。また、春分娩可能な育成牛・経産牛も同様に引き合いが強くなっており、ともにやや強含みの相場で動くと思われま。
	初妊牛	75~85	やや強含み	
	経産牛	47~57	やや強含み	
道内総括	育成牛(10-12月令)	43~53	やや強含み	道内の1月中旬までの生乳生産量前年比は102.6%、累計で102.1%の実績となっております。例年より積雪量が少なく、農作物への影響が心配されるようになってきました。 2月の初妊牛動向といたしまして、4月~5月分娩が中心となり需要が高まる事が予想されます。道内各地域の初妊牛相場は堅調に推移しており、F1腹と雌雄判別腹の価格差も無い状況になってきています。道内外のギガファームの購買意欲も続いており、今後も相場は堅調に推移していくと思われま。初妊牛導入のご予定がございましたら、お早目のご相談・ご注文をお願いします。弊社と致しましては、相場動向に注視しながら庭先選畜購買を中心に安定的に搾乳素牛を供給していきますので宜しくお願い致します。
	初妊牛	77~87	やや強含み	
	経産牛	50~60	やや強含み	

*上記相場は、血統登録牛(中クラス)の庭先選畜購買による予想相場です。

庭先選畜購買のため、市場購買とは異なります。

全国酪農業協同組合連合会(全酪連)

札幌支所

☎011-241-0765

毎度、乳牛購買事業に大変ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
乳牛の導入計画がありましたら、最寄りの支所へご一報下さい。
担当者がお伺いし、最近の状況をご説明し、納得いただけるよう購買のお手伝いを致します。
また、購買後の輸送・事故処理は責任を持って最寄りの支所と札幌支所がお世話申し上げます。

《各事務所電話番号》
釧路事務所 ☎(0154)52-1232
根室駐在員事務所 ☎(0153)76-1877
帯広事務所 ☎(0155)37-6051
道北事務所 ☎(01654)2-2368

輸入粗飼料の情勢

全酪連大阪支所
酪農生産研究会

北米コンテナ船情勢

2020年1月1日以降重油に含まれる硫黄に対する規制が始まっています。各船社ともLow Sulphur Compliance Charge(LSFCC)の導入をしています。3月以降もこのチャージは変動する予定となっており引き続き動向に注視が必要です。

他方でシアトル・タコマ、カナダのバンクーバー港など荒波や荒天の影響を受けやすいPNW地域からの貨物は、例年のごとく冬季の悪天候により遅延が発生し始めています。船社によっては遅延を引きずりながら本船の運航を行っており、玉突きで入船予定が遅れている貨物も散見されています。

また新型コロナウイルスに揺れる中国では感染拡大を防止するため、中国政府が当初旧正月の終了を予定していた1月29日からの延期を発表しましたが、生産活動・需要の鈍化を懸念し、いくつかの船社では予定していた中国への寄港を取りやめ、そのまま次の寄港地へ向かうサービス変更の動きが見られます。このことからシンガポールでフィーダー船に貨物を積み替え中国を経由し日本に牧草を輸出している豪州産オーツハイや、北米から中国を経由する地方港への貨物の遅れも発生しています。

ビートパルプ

【米国】

2019年産のビートは、秋口からの悪天候の影響で、生育不良や収穫作業を断念する圃場が多く発生しました。これらの減少分をビートパルプの発生量で換算すると、例年に比べ生産量は約13万トン減少するとも言われております。今後の天候次第では、既に収穫され保管されているビートの品質劣化も考えられ、最悪の場合はさらに2019年産の生産量が減少する可能性もあります。この生産量の減少により、例年よりも1-2か月早い、2月中旬以降に順次工場の生産が終了する見込みとなっている地域もあるようです。

アルファルファ

ワシントン州

ワシントン州では、2019年産の上級品の発生が限定的で供給力も限られているた

め、他産地に比べて高値で取引されております。一部のサプライヤーでは工場稼働の維持や顧客へ供給するため、中級品であっても高値で買い付けをしないといけなかったという声も聞かれます。

オレゴン州

オレゴン州では、産地情勢に大きな変化はありません。産地在庫はほぼ成約済みなため追加買付は困難な状況です。同地域では、高成分アルファルファが比較的多く収穫できたため、当地における上級品に対する需要が集まっており、産地価格は高値のまま推移しています。

カリフォルニア州

南部インペリアルバレーでは、現在一部の生産者で収穫前の掃除刈を行っており、早ければ2月下旬頃から、2020年産1番刈りの収穫が開始される見込みです。産地相場については、収穫前のため落ち着いていますが、本格的に1番刈りの収穫が始まれば、中国、中東の強い需要および繰り越し在庫がない内需の旺盛な買い付けが予想され、産地相場の高騰が懸念されています。

米国産チモシー

2019年産の上級品については多くが成約済みですが、引き続き中級品から低級品に関しては、一部のサプライヤーでは在庫を抱えているようです。チモシーへの需要は堅調ですが、2019年産は価格が総じて軟化したため、コロンビアベースンでは、収益性の高い他の換金作物への転作が始まっており、2020年産のチモシーの作付面積は減少すると予測されています。

カナダ産チモシー

アルバータ州南部のレスブリッジ地区では2019年産1番刈チモシーは、ほぼ成約状態にあり追加で供給できる余力はないようです。他方でいくつか2番刈を保有している生産者もいるようですが、良品のチモシーはカナダ国内の内需向けに販売される見込みです。

アルバータ州中部のクレモナ地区についても、現状追加買付できる1番刈のチモシーはほぼない状況で、在庫も成約済みで今後の出荷に向けられるものとなっています。また現地サプライヤーによると2019年産の出荷ペースは日本、韓国を中心に上級品、低級品ともに好調で2020年産の収穫時期を前に大半の在庫を出荷できる見込みのようです。

スーダングラス

インペリアルバレーでは肥育牛が増頭しているため、低級品や輸出に不向きなスーダンストローに対して旺盛な引き合いがあり、現地では余剰在庫がない状況です。一方で、2019年産スーダンの価格が生産者にとって魅力的ではなかったため、2020年産に対する生産意欲は弱く作付面積を減らす考えの生産者もいるようです。

クレイングラス（クレインは全酪連の登録商標です）

現地サプライヤーによるとクレイングラスの出荷は日本、韓国中心に安定的なようです。2019年産はインペリアルバレーでの作付けが20,000エーカーを超え発生量もあったこともあり、サプライヤーによっては2019年産の供給余力は若干まだあるようですが、中低級品中心となっています。

他方で昨年来産地相場が堅調なため、時期尚早ではありますが、2020年産の作付面積は2019年産比、概ね横ばい若しくは微増をすると考えられます。

ストロー類（フェスキュー・ライグラス）

ペレニアルライストローは、引き続き日本、韓国からの需要が強く、現地価格を押し上げる要因となっております。アニュアルライストローは現地では多少の在庫を抱えているサプライヤーも要るようですが、ペレニアルライストローについて余剰在庫はない状況です。

韓国は、クォーター制度の関係で12月に多くのストローを輸入したため1月の韓国への出荷は鈍化したようですが、これは一時的なもので2月以降の出荷ペースは回復してくると見込まれています。

豪州産オーツハイ／ウィートストロー

輸出向けは各国からの引き合いが非常に強い状況です。特に低級品を求める顧客からオーツハイとストローを混ぜたブレンド品の需要が強くなっています。

国内需要についても相変わらず強く、東豪州では産地価格が上昇しています。各サプライヤーにおいては、今のところ山火事による直接的な被害は受けておらず、生産農家の倉庫に保存している在庫についても被害はないとのことですが、直近の産地相場上昇は輸出市場においても影響が出てくる可能性があります。火災による家畜の被害も報告されていますが、犠牲になった動物の大半は野生動物のようで、放牧草などへの影響が大きく、飼料不足が懸念されます。西豪州からは今回の火災の被害に対する援助としてバール牧草をトラックで輸送し始めているというような記事も見受けられます。

豪州においても、LSFCC（低硫黄燃料チャージ）導入のためのコストは船会社によ

り異なります。1 月出航分からチャージを導入している船会社もありますが、多くは 2 月出航分から導入が始まっています。これに伴い 2 月出航分から各サプライヤーもチャージ分を価格に転嫁する動きがみられます。

以 上

畜舎衛生環境資材

TOKOマイト3プラス

天然物質由来の原料を主とした安心な資材です。

滑り抑止

除菌

乾燥促進



牛床
通路に

撒いて
快適!

脱臭

吸水

ホコリが
たたない

ぬかるみ
対策

蹄の健康維持

乳頭皮膚にやさしい

充填時 **20kg**

お問い合わせは…

全酪連 大阪支所 TEL : 06-6305-4196
中四国事務所 TEL : 086-231-1120

近畿駐在員事務所 TEL : 0794-62-5441
三次駐在員事務所 TEL : 0824-68-2133

フルカラー版は組合ホームページから
ご覧いただけます。

